

⑱ 木の実や枝の壁かざり

- 子どもたちに伝えたいこと
 - 自分の家の周りや公園には、さまざまな葉や実をつける植物があることを知る。
 - 工夫することによって、いろいろな工作物ができることを知る。

- 実施時期：9月～1月
- 実施場所：教室、野外（公園、校庭、雑木林）
- 対象学年：低学年
- 関連教科：生活科、図工
- 時数：2時限
- 事前準備



<材料>

- (1) 学校：木の実・小枝・葉
- (2) どんぐりクラブ：木の実・葉（補充用）、木の枝

8 当日

(1) 準備する材料や道具

学校：板目紙（はがきからB5サイズ、紐を通す穴をパンチで開けておく）、紐、木工ボンド、はさみ

どんぐりクラブ：木の実や枝、葉等（補充用）、剪定はさみ、グルーガンとホットボンド

(2) 授業の流れ

- ① あいさつ
- ② 使う自然物の話
- ③ はじめに全体の構成を考えて厚紙の上においてみる。
- ④ 木工ボンドでつける。
- ⑤ 大きいものや不安定なものはグルーガンでつける。
- ⑥ 紐を付けて完成
- ⑦ 発表

・作品を見せ合ったり、自分で工夫したところなどを発表する。

- ⑧ 終わりのあいさつ

9 備考

・木の実等の採集のみの授業にすることもできる。



<作品-1>



<作品-2>